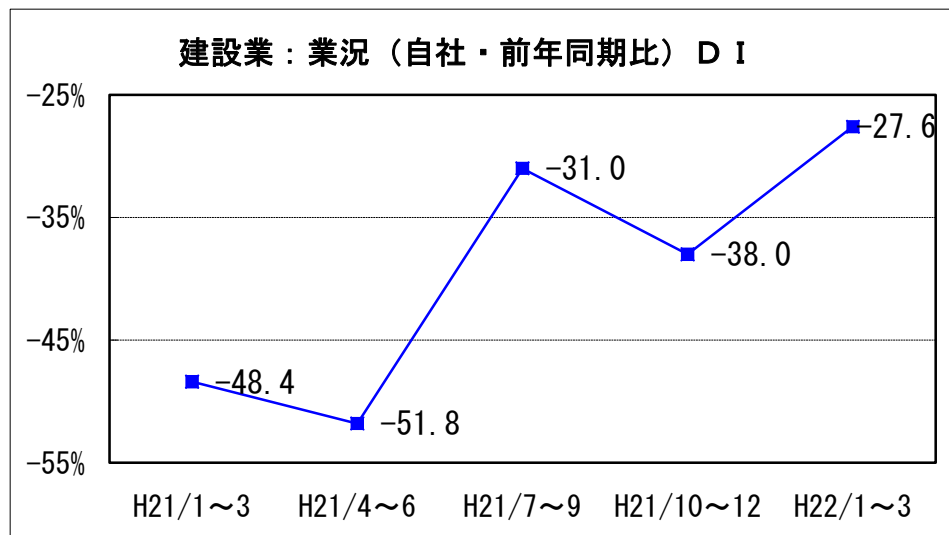


3. 建設業の動向

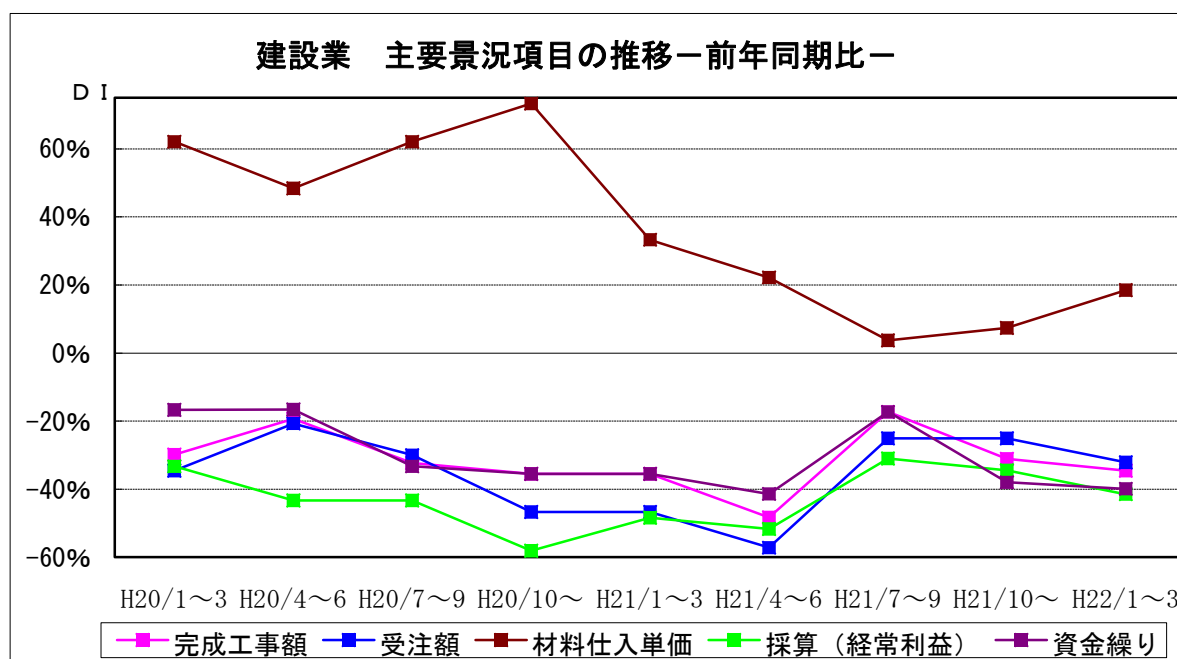
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス27.6。前期のマイナス38.0から10.4ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス28.6とやや悪化の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

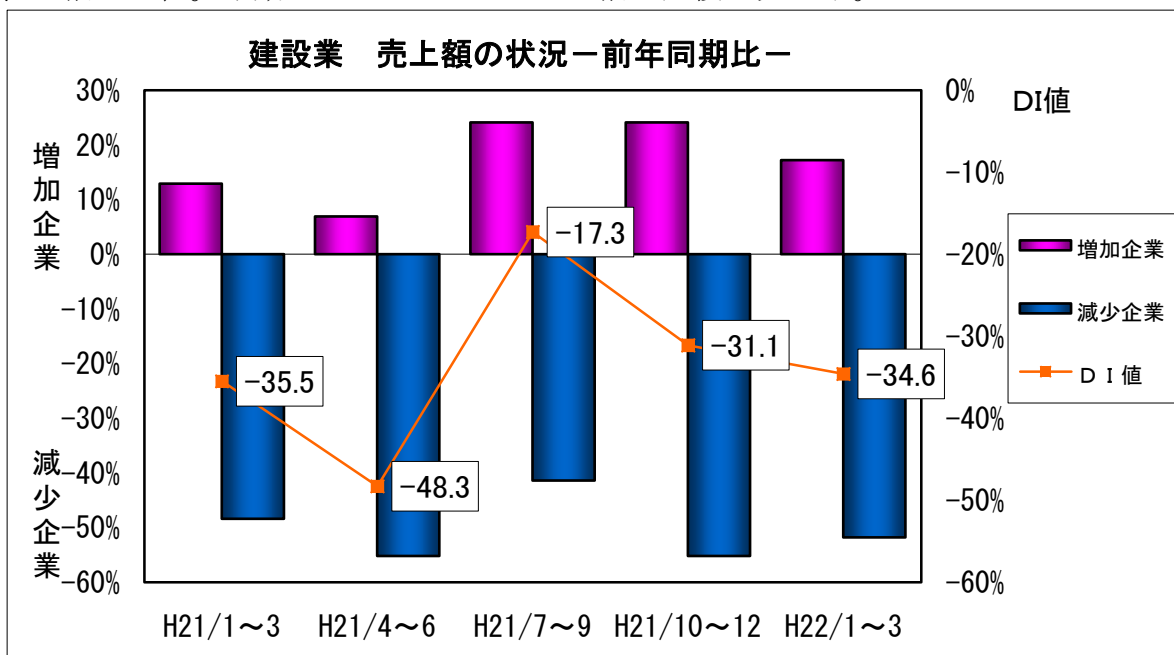
	前々期 (21年7月~9月)	前期(A) (21年10月~12月)	今期(B) (22年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲17.3	▲31.1	▲34.6	▲3.5	▲17.2
受注額	▲25.1	▲25.1	▲32.1	7.0	▲28.6
材料仕入単価	3.7	7.4	18.5	11.1	14.8
採算(経常利益)	▲31.0	▲34.5	▲41.5	▲7.0	▲27.6
資金繰り	▲17.3	▲38.0	▲39.3	▲1.3	▲20.7



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

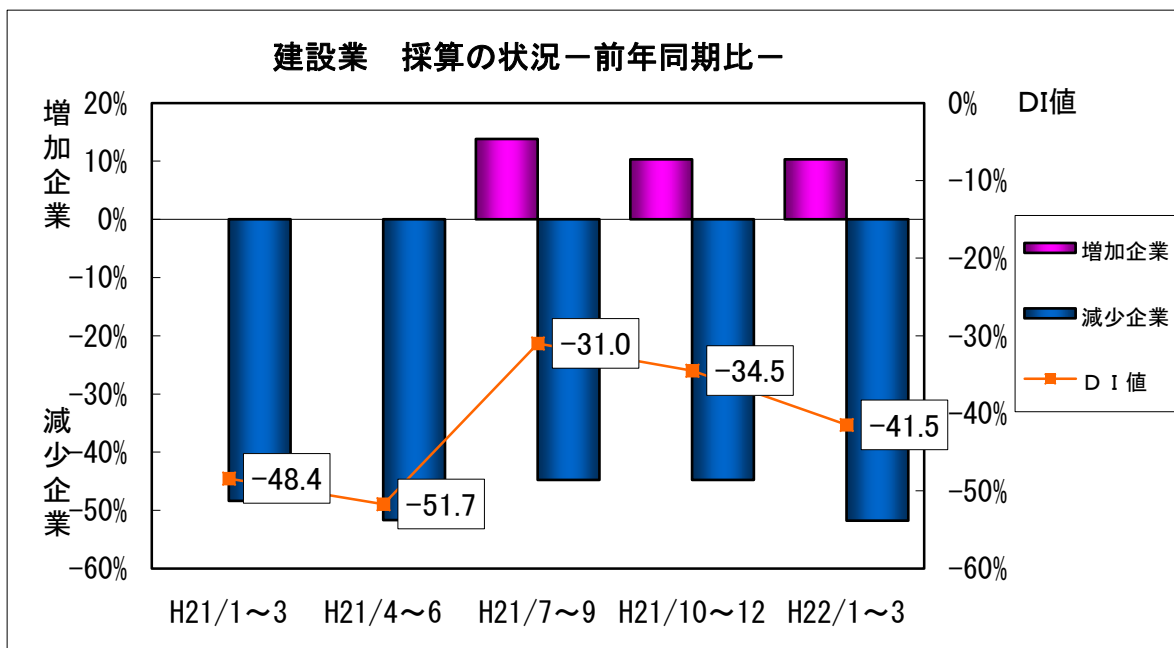
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I 値は、マイナス 34.6。前期のマイナス 31.1 から 3.5 ポイント下降、小幅な悪化。来期はマイナス 17.2 と大幅な回復の見込み。



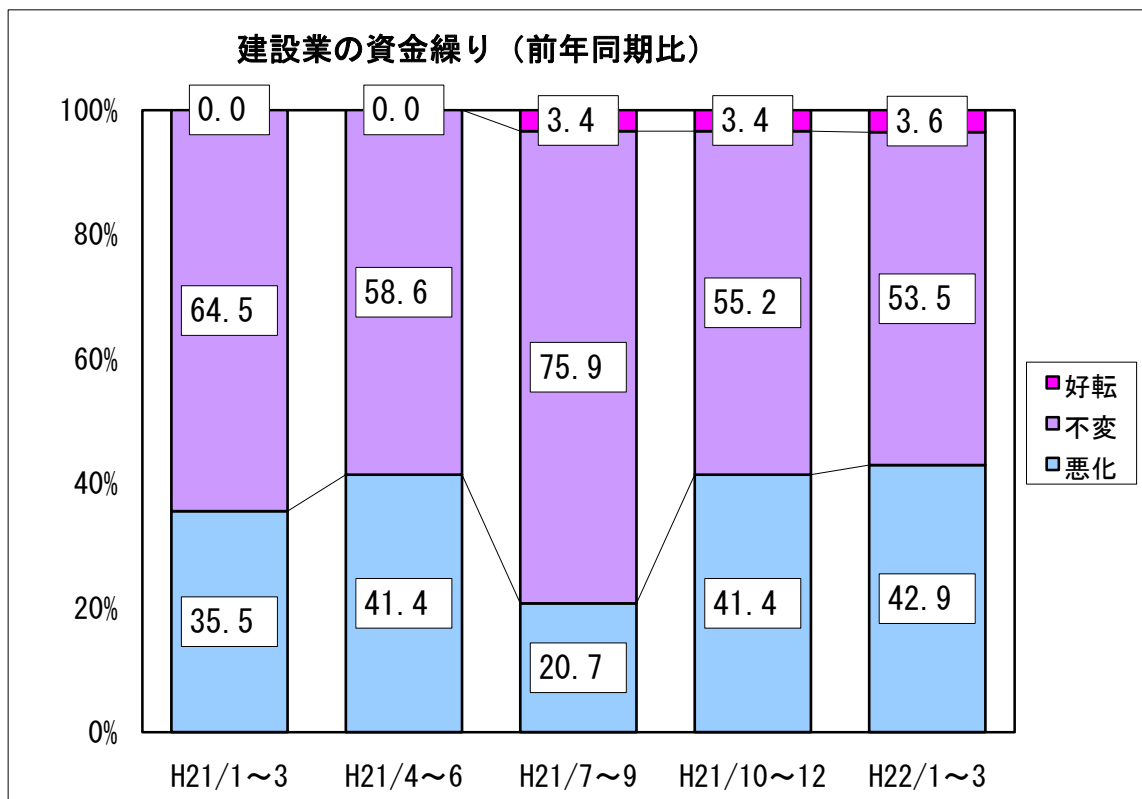
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、マイナス 41.5。前期のマイナス 34.5 から 7.0 ポイント下降、悪化。来期見通しは、マイナス 27.6 と大幅な回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 39.3。前期のマイナス 38.0 から 1.3 ポイント下降、やや悪化。来期見通しは、マイナス 20.7 と大幅な回復の見込み。

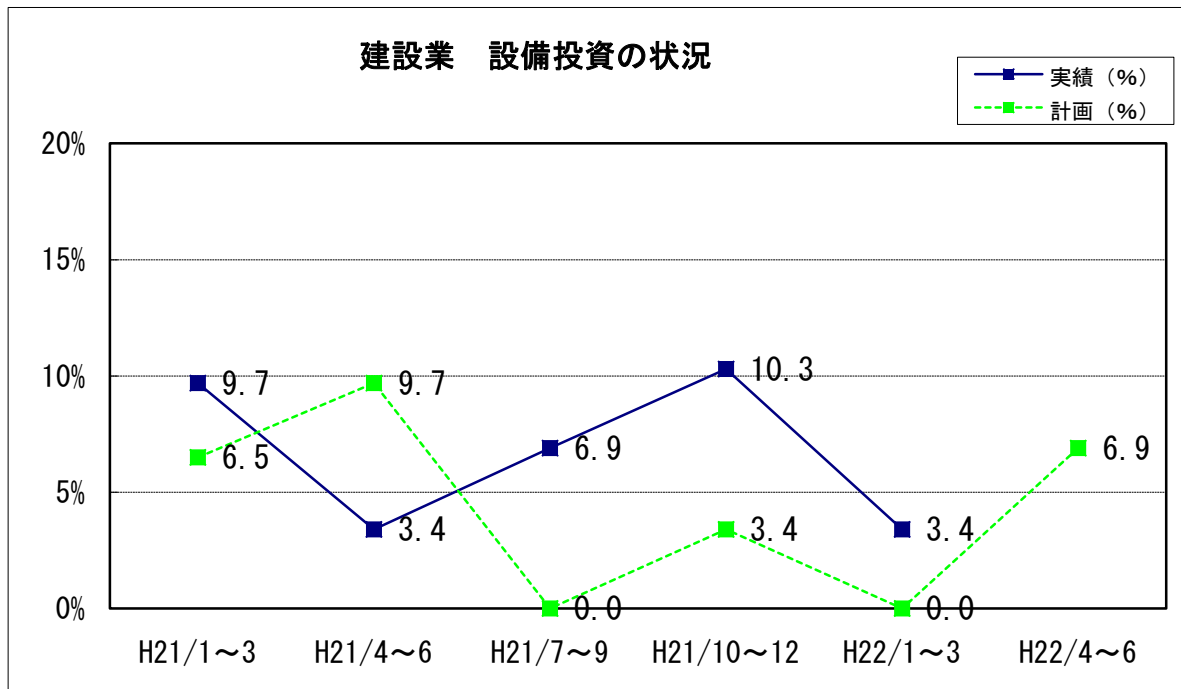


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	2	1	0	0	1	0	0	26
(%)	10.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	89.7
今期実施 (実数)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	28
(%)	3.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6
来期計画 (実数)	2	1	0	1	1	0	0	0	0	27
(%)	6.9	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.1

今期設備投資を実施した企業は1社(3.4%)。前期(平成21年10~12期)の実施企業3社(10.3%)から2社減少。来期は2社(6.9%)が、土地、建設機械、車両・運搬具への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 80.8%→今期 76.9%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 53.8%→今期 57.7%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 38.5%→今期 46.2%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 23.1%→今期 26.9%)

となっている。

